

★岩国基地内大学Q & A集★

1. 大学について	1
2. ブリッジプログラムについて.....	5
3. 応募について	6
4. 岩国基地での就学について	8
5. 就学者体験談	9
お問い合わせ先・参考 URL	11

1. 大学について

Q. 基地内大学とは？

A. 在日米軍基地内には、「米軍人、軍属及びその家族」のための高等教育の場として、大学があります。現在、岩国基地にはメリーランド大学（UMGC：University of Maryland Global Campus Asia）があります。

メリーランド大学では、「米軍人、軍属及びその家族」を優先しますが、定員の一部にこれらに該当しない日本人就学生を受け入れています。

Q. 岩国基地内にキャンパスがあるのですか？

A. 基地内に大学の独立したキャンパスはありません。基地教育センターの建物の一部にある講義室で授業を受けます。同じ建物の中に事務室、教官室、講義室、実験室、図書室などがあります。

Q. どのようなコースがありますか？

A. 正規コースとブリッジプログラムの二つのコースがあります。

正規コースは、60単位以上取得すると Associate（準学士／短期大学相当）、120単位以上取得すると Bachelor（学士／4年制大学相当）の学位が取得できます。また、希望者は Undergraduate certificate（履修証明）という資格も取得できます。

学位を目指す方は、大学の担当者（アカデミックアドバイザー）と相談しながら、長期的に単位取得する必要があります。

ブリッジプログラムについての詳細は P.5 をご参照ください。

Q. どのような学科がありますか？

A. メリーランド大学で選択できる専攻学科（学士）は以下の通りです。

- ・ Accounting（会計）
- ・ Applied Technology（応用技術）
- ・ Business Administration（経営管理）
- ・ Communication Studies（コミュニケーション）
- ・ Computer Science（コンピューター）
- ・ Criminal Justice（刑事司法）
- ・ Cyber Operations（サイバーオペレーション）
- ・ Cybersecurity Management and Policy（サイバーセキュリティ管理）
- ・ Cybersecurity Technology（サイバーセキュリティ技術）
- ・ Data Science（データサイエンス）
- ・ East Asian Studies（東アジア）
- ・ English（英語）
- ・ Environmental Health & Safety（環境衛生安全）
- ・ Finance（財政）
- ・ General Studies（一般教養）
- ・ Graphic Communication（グラフィックコミュニケーション）
- ・ Health Services Management（保健医療管理）
- ・ History（歴史）
- ・ Homeland Security（国土安全保障）
- ・ Human Resource Management（人材管理）
- ・ Humanities（人文科学）
- ・ Legal Studies（法律）
- ・ Management Information Systems（経営情報システム）
- ・ Management Studies（経営）
- ・ Marketing（マーケティング）
- ・ Political Science（政治）
- ・ Psychology（心理）
- ・ Public Safety Administration（公共安全管理）
- ・ Social Science（社会科学）
- ・ Web & Digital Design（ウェブ&デジタルデザイン）

※各専攻の詳細は大学ホームページをご確認ください

Q. 学費はいくらですか？

A.

コース	学位取得に必要な単位数	1 単位あたりの授業料	1 講座(3 単位)の授業料	(参考)卒業に必要な授業料 ※あくまで目安です
ブリッジプログラム	(学位なし) 6 講座	-	750 ドル	$750 \times 6 = 4,500$ ドル
正規コース (準学士)	60 単位以上	250 ドル	750 ドル	$250 \times 60 = 15,000$ ドル
正規コース (学士)	120 単位以上			$250 \times 120 = 30,000$ ドル

※上記は 2025 年 2 月現在の金額です。例年 8 月頃に改訂があります。

※別途、就学手続きの際に初回登録料（50 ドル）、管理費（1 単位あたり 5 ドル※通学講座のみ）や教材費がかかります。

学期ごとに、受講する講座の登録と支払いを行います。1 講座あたりの学費は単位数で算出します。通常 1 講座は 3 単位です。支払方法はクレジットカード、デビットカードがあります（現金・バーコード決済不可）。

Q. 受講方法は？

A. <通学>と<通信>があり、受講する講座によって異なります。

<通学>…基地教育センター内講義室で受講

<通信>…インターネット等を利用して自宅で受講

Q. 通信講座とは何ですか？

A. メリーランド大学には Online Learning と呼ばれる通信教育があります。これはインターネットを利用し、 Learning Experience Online (LEO) と呼ばれる授業用プラットフォームを介して自宅で受講するものです。

講座が指定する一定の期間・時間内で、受講します。毎週、講師からレポートの作成や出題に対する解答が求められますので、期日までに LEO を通して提出します。時には同じ講座を受講する他の学生と連絡を取り合うこともあります。

Q. 学期は？

A. 年間6学期制で、1学期は7～8週間です。

- | | | |
|-----|------------------------|--------------|
| 1学期 | Fall Term, Session 1 | …8月下旬～10月中旬 |
| 2学期 | Fall Term, Session 2 | …10月下旬～12月中旬 |
| 3学期 | Spring Term, Session 1 | …1月中旬～3月中旬 |
| 4学期 | Spring Term, Session 2 | …3月中旬～5月中旬 |
| 5学期 | Summer Term, Session 1 | …5月中旬～7月上旬 |
| 6学期 | Summer Term, Session 2 | …6月下旬～8月中旬 |

Q. 開講時間は？

A. 講座により異なります。一定の曜日（正規コース：週1～2日、ブリッジプログラム：週2日程度）・時間帯で、週3～6時間程度です。主な開講時間は、平日の夕方18時～夜間です。これ以外の時間に開講されるものもあります。

例： <正規コース> 平日 18:00～21:00

<ブリッジプログラム>、平日 18:00～22:00 など、週2日程度

※ブリッジプログラムの開講曜日と時間は、講師と受講生で日程調整し決定します。

Q. 受講登録の方法は？

A. インターネットを介して登録手続きをします。受講登録の日程は大学ホームページに掲載されます。各学期が始まる前の1ヶ月程度が科目登録期間ですが、「米軍人、軍属及びその家族」が優先されるため、定員に空きがなく、登録ができない場合があります。

Q. 1学期に登録できる講座の数は？

A. 1学期につき1～2講座が一般的です。教科書の通読、レポート作成等には、相当の時間と労力を要します。はじめて受講する学期には、1講座という方が多いようです。

Q. 1 講座あたりの受講者数は？

A. 1 講座あたりの定員は 25 名程度で、各講座約 10～20 名程度の生徒が受講しています。

Q. どんな課題がありますか？

A. レポート提出のほか、教科書や参考書の通読など予習復習が必要です。受講者の方の話では、宿題は多く、毎回出るとのことです。テストもたくさんありますので、意欲をもつことが大切です。

Q. 別の大学で取得した単位を、基地内大学の単位として認めてもらえますか？

A. 日本国内や海外の大学で取得した単位を、メリーランド大学へ算入できる場合があります。詳しくは、就学後に大学の担当者にご相談下さい。

Q. 就学後、自己の都合によりしばらく受講できない場合はどうなりますか？

A. 毎学期受講しなくてはならない決まりはありません。仕事や家庭の都合、興味のある講座のみ受講したい、基地入門手続きが煩わしい、などの理由で受講を中断する方もいますが、在学の最長年限は定められていないので、再び受講することができます。

Q. どんな人が就学していますか？

A. これまでの就学者は、職業をお持ちの方、退職された方、主婦の方など様々です。目的も、英語力を維持向上させたい、留学予定なので授業の雰囲気慣れたい、生涯学習として興味ある講座を受講したい、学位を目指したいなど様々です。

Q. これまでの就学者数は？

A. 平成 3 年度から令和 7 年度までに、市を通じて就学した人は、約 200 名です。令和 7 年度の日本人の推薦者数は、ブリッジプログラム 4 名でした。なお、岩国基地内大学全体での受講者数は例年約 150 名以上となっています。

2. ブリッジプログラムについて

Q. ブリッジプログラムとは？

A. 日本人など、英語を母国語としない人を対象にした、英語力強化プログラムです。アメリカの大学教育を受ける上で必要となる学術的な英語の口頭・筆記スキルなどを向上させることが目的です。必修講座等を一定の成績(評価 C)以上で完了すると、正規コースに編入することができます。

Q. どのような講座を受講するのですか？

A. ブリッジプログラムは、必修5講座とオプション1講座で構成されており、指定された順番で約1年を通して受講します。単位を落とした場合は次には進めず、約2カ月、場合によっては約1年間待って同じ講座を受講します。

通学講座は受講希望者が9人に達した場合、開講されます。岩国基地で開講されない場合は、他基地で開講される講座のオンライン受講をご案内することがあります。

〔ブリッジプログラム必修講座及びスケジュール (予定)〕				
学期			講座名	
1	Fall Term, Session 1	8月下旬～10月中旬	必修	Interpersonal Communication Skills 対人コミュニケーションスキル
2	Fall Term, Session 2	10月下旬～12月中旬	必修	Integrated Skills for College Literacy カレッジリテラシーの総合スキル
3	Spring Term, Session 1	1月中旬～3月中旬	必修	Integrated Skills for Academic Success 学術的成功のための総合スキル
4	Spring Term, Session 2	3月中旬～5月中旬	必修	Academic Writing I 学術的ライティング I
5	Summer Term	6月上旬～7月下旬	必修	Academic Writing II 学術的ライティング II
6	Optional	8月中旬～10月中旬	オプション	Foundations of Speech Communication スピーチコミュニケーションの基礎

※講座は変更になる場合があります

Q. 「他基地で開講される講座のオンライン受講」とは具体的にどういう意味ですか？

A. 岩国基地で行われる対面の通学講座が最低人数の9人に達しない場合、他の基地内大学で行われる対面講座が中継されオンラインで受講することができ、最近ではこのようなケースが増加しています。詳細については、就学後に大学から案内がありますが、すぐに受講を希望する方はオンラインでの受講を選択する一方、対面授業を強く望む方は通学講座が開催されるのを待って復学するなど、個々の希望に応じた選択が可能です。

Q. 仕事の都合で欠席する場合はどうなりますか？

A. ブリッジプログラムは開講が決まると1年間を通じて基本的に同じ曜日・時間となり、都合による遅刻や欠席の対応は、レポートを提出する等、講師と個別で調整できる場合があります。ただし、全く出席せずに単位を取得することはできません。

3. 応募について

Q. 応募方法は？

A. 募集要項をよく読み、願書など必要書類を揃え、文化振興課都市交流室へ持参、または郵送してください。

出願に必要な書類：

英文卒業証明書、英文成績証明書、写真2枚(パスポートサイズ)、英語資格の証明書(原本)

※面接合格者は、追加書類（英文推薦書、英文レポート）の提出が必要です

Q. 応募資格は？

A. 次のすべての条件を満たす方です。

- ①日本国籍を有し、通学可能な範囲内に居住している人
- ②高校卒業または同等以上の学力がある人
- ③出願に必要な英語力がある人（以下図参照）

英語資格（いずれか一つ）	コース	
	ブリッジプログラム	正規コース
TOEFL iBT/ TOEFL iBT Home Edition	45点	71点
TOEFL ITP	450点	—
IELTS	4.0点	6.0点
英検	2級	準1級
TOEIC ※L&RとS&W 両方の受験が必要	Listening 275点 Reading 275点 Speaking 120点 Writing 120点 ※4技能全ての条件を満たすこと	—
Duolingo English Test	75点	95点
取得期限	取得から5年以内 (2021年4月1日以降)	取得から2年以内 (2024年4月1日以降)

詳しくは募集要項をご確認ください。

Q. 英語資格がない場合、どうしたらいいですか？

A. 結果がすぐ手元に届く、Duolingo English Test の受験を勧めています。

Q. 英文推薦書(追加書類)は誰に頼めばいいですか？

A. 推薦者に記載されているような方（最終学校の長・教授・職場の上司など）の該当がない場合、第三者であれば問題ありません。推薦者本人が英語で作成できない場合は、どなたかに翻訳していただいたものでかまいませんので、英文にてご提出ください。ただし、署名は必ず推薦者本人が行ってください。

Q. 応募から就学開始までの流れは？

A.

3月上旬～	募集要項と願書入手 岩国市役所都市交流室の窓口や岩国市ホームページから入手 できます。（詳しくは P.11 を参照）
4月2日～5月14日	出願書類の提出
5月24日	面接選考 面接は日本語で行います。
6月初旬	面接選考結果の通知 結果を通知します。合格者には、追加書類の提出について通知 します。
6月中旬	面接選考合格者のみ追加書類提出 英文推薦状の入手には、時間がかかることがあります。早め のご準備をおすすめします。
6月下旬	就学候補者の推薦 岩国市長は、面接合格者を就学候補者として基地内大学へ推 薦します。
7月中旬～下旬	入学者対象オリエンテーションの開催 オンラインまたは岩国基地内教育センター内で入学者対象の オリエンテーションが開催されます。重要な説明があります ので、必ず出席して下さい。
7月中旬～8月上旬	受講登録及び基地入門手続き
8月下旬以降～	就学開始

4. 岩国基地での就学について

Q. 基地内で学ぶために必要な基地入門手続きとは何ですか？

A. 基地憲兵隊（PMO）の基地入門許可が必要です。詳しくは、就学者オリエンテーションで説明があります。

Q. 基地入門が許可される日・時間はいつですか？

A. 通常受講する講座がある日・時間の前後に 30 分～1 時間程度を加えた時間帯に限り、入門許可証が発行されます。入門許可証が発行されるまでは、基地教育センター職員もしくは大学関係者がエスコートします。

基地入門許可の取り扱いは、警備状況により変更されることがあります。

Q. 基地内大学の就学者は、基地内のほかの施設を利用できますか？

A. 大学の施設と図書室のみ利用できます。このほかの施設を利用するときや許可された時間を超えて基地内に滞在するときは、別の許可が必要です。

Q. 軍関係者を優先するとは具体的にどういうことですか？

A. 受講登録期間中は「米軍人、軍属及びその家族」が先に登録を行うほか、1 講座の中で地位協定に該当しない日本人学生の数が一定の割合を超えないよう制限があります。また基地入門許可の内容は限定的なものですので、事実上、図書室の利用などにも差があります。

Q. 通学手段、方法は？

A. 基地内での移動は、基本的に車やスクーター、自転車などです。正門から建物までの距離は 2 km あり、さらに夜間は暗くなるため、おすすめしません。スクーター、自転車に乗車時には、反射ベストとヘルメット着用が必要です。毎回正門で入門手続き（身分証明書や車両乗り入れの場合は車検証や自賠責証明書等の提示とサイン）が必要となります。

5. 就学者体験談

正規コース受講者の声

- 外国にいくより経済的に軽く、環境を変えずに学習することができる。3時間の授業は疲れるがモチベーションが大事である。(H24年度ブリッジ・H25年度正規コース受講者)
- アメリカ本国の大学と変わらない環境の中で、指導熱心な教授の授業を受けることができる。クラスの規模が小さいことが多いので、ディスカッションやプレゼンテーションなど、より生徒が積極的に参加する機会に恵まれる。アメリカ留学を考えている人のステップにぴったりだと思う。(H25年度正規コース受講者)
- オンライン講座では、毎週先生から読み物やビデオの宿題と3つの小テストがあり、その週のトピックについてクラスメートと意見を交換したりした。仕事を二つ持っているため、学校に通うのは難しいと思っていたが、オンラインだと自分のペースで勉強できるので便利。東アジア学の専攻だが、日本の歴史をアメリカからの視点で勉強できるのは興味深い。(H27年度正規コース受講者)

ブリッジプログラム受講者の声

- 自分の英語に自信が持てるようになった。
- 自分の英語がきちんと伝わっているのか半信半疑だったが、自分で気づかない間違いが発見できた。
- 個人のレベルにあった指導をしてくれる。
- 説明会の時点では悩んでいたが、1歩踏み出して受講し本当によかったと思う。
- 今まで発音は避けてきていたが、授業を通してその大切さも痛感し、授業のテスト等で使う発音のソフトで練習しているがとても役立っている。授業も週6時間と多く、宿題も多いので仕事との両立は正直大変だが、タイムマネジメント力も身につく。グループディスカッションもあり、エネルギー問題や家族についてなどオピニオンを求められる。生徒も市外の人や英語以外にも積極的に色々活動している人が多く、みんな志が高いので刺激をもらえる。そういう人達に出会えたのも自分にとって大きかった。悩んでいるなら、是非一歩踏み出して欲しい。(H29年ブリッジ修了生&正規コース受講生 50代男性)
- ライティングが特に鍛えられた。エッセイの書き方について知識も深まり、実践力もつき、ブリッジを受けてよかった。年齢的に物忘れもあるが、だからこそそれ以上に物を入れるように努力するべきだと思っている。大変だったが勉強する習慣がついた。先生も熱心で、みんなも頑張っていた。こういう環境は中々ないので、是非一歩踏み出して欲しい。(H29年ブリッジ修了生&正規コース受講生 60代男性)
- ブリッジプログラムでの学びは、大学で必須となる論文の作成方法と発表。日本語で考えても難しい課題が与えられ、英語でそれを表現するという苦勞が、英語への苦手意識を軽減しつつ奥深さも知れた。(H29年ブリッジ修了生&正規コース受講生 30代女性)
- リスニング力と英語を話す度胸がついた。文法が今までよく分からなかったが、理解することが出来た。教材がよかったと受講生の間でも好評だった。プレゼンテーションは、テーマについて調べて考えをまとめるのが大変だったけど充実していた。ブリッジをとったことで、海外担当の仕事が出来るようになった。(H30年ブリッジ修了生&正規コース受講生 40代女性)
- 授業は大変だが、楽しい方が勝つ。英語のレベルは受講生でバラつきがあるが、色々なバックグラウンドを持った方が集まっているので刺激をもらった。(H30年ブリッジ修了生&正規コース受講生 30代女性)

メリーランド大学には、通学タイプと通信教育の二つのタイプの授業がある。

●通学型＝基本的には一般教養科目を開講（例：英語のライティング、数学、〇〇学入門といった、日本でも大学の1～2年次に学習するような内容）。毎日1時間半程度、または週2日2～3時間教室で講義を受け、残りはオンラインで学習するというもの。基地内では、学生の数限られているため、先生が一方向的に話続ける一般的な講義形式ではなく、グループディスカッションを活用。（→アメリカ人学生と同等の英語力がないと厳しい。ただし、授業に出さえすれば出席点はもらえるし、分からないところはすぐに先生から指導を受けることができるというメリットあり。）

●通信教育＝全科目が対象（基地内で開講される科目は限られているので、学位の取得を目指すのであれば、通信教育がメイン）。科目による差はあるが、一般的に、毎週テキストを読み（50ページ程度）、関連するトピックに対して、ディスカッションを行う（チャットやビデオではなく、掲示板）。基本的に自分の都合のよい時間に勉強ができる。（ただし、自分の投稿に返答があったり、他のクラスメートへの投稿に意見したりすることが求められているため、頻繁なチェックが必要）。ディスカッションが出席点代わり。英文を作る時間はあっても、内容が評価対象になるので、中身がない投稿をしても点数が稼げない。不明な点は講師にメールすれば、すぐ回答が得られるが、ニュースでのやりとりができない。

どちらのタイプのコースも課題の量は一緒。

例) ライティング－4エッセイ+小テスト6。

数学－毎週の宿題提出、小テスト、最終テスト。

心理学研究法－小テスト3、最終テスト、論文課題が1～2個（3～4又は10ページ）、プレゼン資料。

→どのコースでも毎週毎週一個以上の提出物があるという感じ。

日本の大学と比べ、かなりの勉強量が求められる。一つのコースが8週間で1セッションという短い期間に凝縮されているため。しかし、日本の大学のように1学期が長くないため、短期間で単位をとっていけるというメリットあり。

*個人的には、2年で学位取得を目指しているため、1セッション2コースのペースで受講。一日だいたい2時間くらい、課題提出前にはほぼ徹夜。しかし、日本のような修業や在学年限がないため、個人個人の都合に応じ、いくらでも期間を設けることもできるし、最初は勉強に時間がかかっても、英語力が向上して英語論文の作成要領も慣れてくると、勉強時間も少なくて済むはず。

■お問い合わせ先・参考 URL■

○応募に関すること

岩国市文化振興課都市交流室

TEL／0827-29-5211 FAX／0827-21-3456 E-mail／kokusai@city.iwakuni.lg.jp

〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目 14-51

ホームページ <https://www.city.iwakuni.lg.jp/soshiki/129/105046.html>



ホームページから募集要項や願書をダウンロードできます。

○大学に関すること

メリーランド大学グローバルキャンパス アジア校

University of Maryland Global Campus Asia (UMGC)

ホームページ <https://www.asia.umgc.edu/>



クラススケジュール <https://bit.ly/2P6PmdT>



○岩国基地での就学に関すること

米海兵隊岩国航空基地マリーン&ファミリープログラム部自己及び専門能力啓発プログラム課

Personal & Professional Development (Education), M&FP MCCS, MCAS Iwakuni

TEL／0827-79-3089

基地内大学の授業は、全て英語で行われます。語学学校ではありません。

大学は、米軍岩国基地内に所在しています。諸情勢により基地入門が制限されて就学が難しくなる場合があります。あらかじめ御了承下さい。